

# 「あの日」を忘れない・・・

固危機管理課  
☎内線241

「東日本大震災」から12年。あのときの記憶を風化させてはいけません。同じような災害が私たちが住む地域で起こったら、正しい行動がとれるでしょうか。この機会に自分や家族の災害時の行動を見直してみましょう。



▲岩手県宮古市田老地区

岩手県にある宮古市田老地区は、東日本大震災以前、2度の津波により多くの方が犠牲になった町です。

過去の被害から大規模な防潮堤や避難階段の整備、避難訓練の実施など、ハード・ソフト両面で津波対策を講じていました。

しかし、東日本大震災による津波は、防潮堤を超え、多くの方が犠牲になりました。

東日本大震災は、2011年3月11日14時46分頃に発生。三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東130km付近で、深さ約24kmを震源とする地震でした。マグニチュード(M)は9.0で、日本国内観測史上最大規模、世界でも4番目の規模の地震でした。

このように、危険な状態を正常の範囲内としてとらえてしまふ「正常性バイアス」、周囲の行動に合わせてしまふ「同調性バイアス」という心理状態が災害時に問題視されています。日頃から避難訓練に参加し、災害時にはどう対応するべきかを考え、災害が発生した場合には楽観視をせず、冷静に行動することが大切です。

## 正常性バイアスと 同調性バイアス



東日本大震災では、「ここまで津波は来ないだろう」、「周りには逃げていないから大丈夫」と思い込み、結果津波に飲み込まれてしまった方が多くいました。「そんなに高い津波は来ないだろう」と、自分で判断したり、周囲に流されてしまふと、いざというときに逃げ遅れてしまふかもしれません。

## 「自分は大丈夫」と 思っていないませんか？

## 津波発生後の町なみ



※宮城県仙台市にて大磯町消防が撮影

また、通信障害や停電に備え、情報取得手段を複数持つておくことも重要です。町の防災アプリや防災メールをダウンロードし、災害情報を取得しましょう。



## 即座に正しい情報を！

災害時において重要なのは、いち早く正しい情報を取得し、最悪の事態を想定して避難行動をとることです。「自分の身は自分で守る」という「自助」の考えを忘れず、日頃から災害に備えましょう。

スマートフォン・タブレットで簡単に情報確認！

防災情報をメールで再確認！

### ○おおいそ防災・行政ナビ (Lifevision)

防災行政無線の放送内容や防災、くらしに関わる様々な情報を配信します。



GooglePlay



AppStore

### ○大磯町防災生活情報メール

防災行政無線の放送内容や、気象庁発表の気象警報、町からの防災に関する情報を配信します。



#### ▶登録方法

bousai.oiso-town@raidan2.ktaiwork.jp

に空メールを送信

※二次元バーコードを読み取ると、空メールの送信画面に移ります

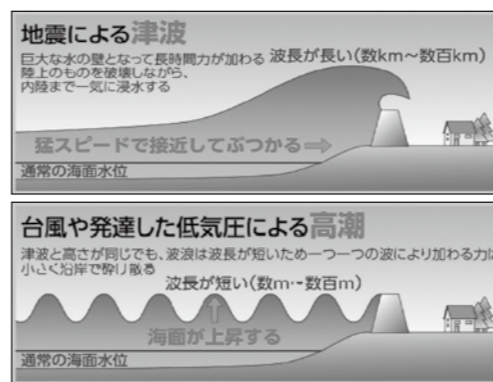


▲高潮ハザードマップ



▲津波ハザードマップ

大磯町津波・高潮ハザードマップを配布します！  
昨年5月に相模灘沿岸が高潮浸水想定区域に、8月に津波災害警戒区域に指定されたことに伴い、新たに「大磯町津波・高潮ハザードマップ」を作成し、広報おおいそ4月号とあわせて配布します。



自分が住んでいる地域をハザードマップで確認し、災害の危険性や避難場所・避難経路を確認しておきましょう。また、「マイ・タイムライン(災害時の避難行動計画)」を作成しておくことで、災害時に慌てずに避難行動ができます。



## 防災講演会

災害が起きる前に避難方法を考えよう！



## 気象情報の見方と風水害時の避難行動について

近年増加している集中豪雨などの災害に備え、今一度、私たちができることを考えてみませんか？

- ・講師 重枝 伸之氏 (一般社団法人日本気象予報士会神奈川支部)
- ・日時 3月11日(土) 10:00~正午
- ・開催方法 Zoom
- ・定員 50人(申込制)
- ・申込み 受付中(ホームページ・☎(61)4100 内線244)
- ・費用 無料